

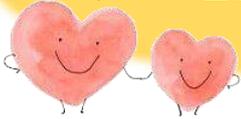
さあ！研修センターに行こう！

センター方式は基礎から事例検討まで、研修センターで学べます！
事業所、サービス、職種を越えての事例検討は、学びや気づきがたくさん！

認知症ケアを楽しいと思うときは…？

- 本人と信頼関係を築けたとき
- 本人の理解を深められたとき

※「認知症 ONLINE」ホームページより



求められる！

認知症の人やご家族視点を重視した認知症ケア



認知症の人を支える側の視点に偏りがち
⇒認知症の人や家族の視点の重視へ！

※厚労省

認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）より

本人との信頼関係を築くことができる！
本人の理解が深められる！
認知症の人やご家族の視点を理解できる！

そんな認知症ケアがしたい！

認知症ケアを進める・深める・楽しめる道具をそろえましょう！



趣味でも仕事でもやりがいを感じ楽しく思うには、知識と技術と経験が必要です。知識、技術は何かを楽しむための、言わば道具です。「本人との信頼関係を築き」、「本人の理解を深め」て認知症ケアを楽しむために、道具（知識、技術）を揃え、じっくり認知症の人と向き合しましょう！

道具のひとつとしての「センター方式」

センター方式を知っていますか？

【センター方式とは】

「パーソンセンタードケア『その人を中心としたケア』」の一つの道具です。認知症の人の生活歴、家族、状況、地域でのつながりなどさまざまな角度からの本人を知るための情報収集ツールです。また、本人の情報をケアする関係者全てが共有するためのツールでもあります。

センター方式のシートを使用することにより、本人をさまざまな角度から理解し、「その人らしいケア」が出来るように考えられています。

センター方式共通の5つの視点

- 1 その人らしいあり方
- 2 その人にとっての安心・快
- 3 暮らしの中での心身の力の発揮
- 4 その人にとっての安全・健やかさ
- 5 なじみの暮らしの継続
(環境・関係・生活)

本人は
「どんな体験をし、
何を望んでいるのか」を
常に考えることが
大切！



むずかしそう・
大変そう… ?

まずは、一人の人に1枚から！

気軽に、取り組みやすいところから

シートの種類

- A (1~4) シート…基本情報
- B (1~4) シート…暮らしの情報
- C (1~2) シート…心身の情報
- D (1~5) シート…焦点情報
(本人のありのままの状態を
詳細に把握する)
- Eシート…24時間アセスメントまとめシート

センター方式には16種類のシートがあります。シートが色々あるということは、**選択肢が色々ある**ということ！**ケアに行き詰まっている人**、「何か**良いアイデア**がないかなあ」と思っている人に、「**取り組みやすい**」「**使ってみたい**」シートを**まず1枚**使ってみましょう。現在使用しているアセスメントツールに1枚のシートを追加するところから始めることができます。

センター方式共通の
5つの視点

センター方式を工具箱に…

研修センターでセンター方式を始める！

研修センターでは、センター方式を使った認知症ケアを基礎から学ぶことができ、実際にシートを使った事例検討までできる研修を実施しています。

認知症ケアの基礎から事例検討までを通して学ぶと理解が深まる！

認知症の基礎を学ぶ

認知症ケア基礎研修

センター方式の基礎を
学び使ってみる

一人の人と向き合うことから
始める認知症ケア
センター方式地域型基礎研修

センター方式のシートを
使った事例を検討する

地域の仲間と考える
認知症の人のよりよい暮らし
認知症ケアを深める事例検討会



認知症を正しく理解する。センター方式の5つの視点を学ぶ。

認知症を正しく理解し、本人の気持ちを理解することの大切さを学びます。この研修で、センター方式の5つの視点を知り、本人本位のケアについて初めてじっくりと考えたという受講生も多く見られます。

認知症の人、本人を理解することの大切さとそのための視点を身につける。

センター方式を使って、一人と向き合う実践的な研修。

センター方式の考え方を詳しく学び、実際にシートに記入をします。自分を取り組みたいと考えている一人のことを考えながらの研修のため、実践的で意欲的に楽しく学ぶことができます。

センター方式を日常的に活かしながら、認知症の人が自分らしく暮らしていくための支援のスキルアップを図る。センター方式のシートを実際に使った事例の検討と活用の仕方、取り組み、報告会がセットになっている。

地域で認知症ケアに取り組む仲間同士が意見を出し合い事例を検討します。センター方式のシートを使ってどのようにケアのチームと情報を共有し取り組んでいくかを実際の事例を通して学びます。グループで話し合いながらの事例検討で、多くの気づきを得ることができ、事業所で認知症ケアに取り組む際の参考になります。



修了書を手にして
ファシリテーターとにっこり

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 センター方式を活用した認知症ケア		
認知症ケア基礎研修		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・職種やサービス種別は不問 		
<p>★ ・認知症のある人へのケアを始めただばかりの新任職員や今年度に認知症ケアの取り組みを考えている方などにおすすめです。</p>		
日程	時間	会場
平成30年 5月30日（水）	9：30-16：45	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を正しく理解し、適切なケアを行うことにより本人本位のケアができる人材を育成します。 ・基礎研修を通し、センター方式の5つの視点を学び、本人本位のケアのあり方について考える機会とします。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の正しい理解（認知症の病態や障害の内容を理解する） ・認知症の人の心に沿った介護の基本 （ご本人の体験を理解する・ご本人の持てる力の発揮を支援する） ・ご本人の心に沿った介護の工夫 （センター方式の5つの視点を深めるワークをとおして、本人本位のケアのあり方を考える） 		
講師		
練馬区認知症ケアマネジメント研究会		

コース名 センター方式を活用した認知症ケア		
一人の人と向き合うことから始める認知症ケア センター方式地域型基礎研修		【全2回の連続研修】
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・連続2回の研修に参加できる方 ・職種やサービス種別は不問 ・認知症ケアをじっくり学びたい方、気になっている認知症の利用者がいる方 		
<p>★ ・認知症ケアをもっと深く学びたい方や気になっている認知症のご利用者がある方などにおすすめです。</p>		
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・この研修を通して、認知症の人、本人を理解することの大切さとそのための視点（見方）を身につけよう。 ・本人「一人」を考えることを通して、認知症の人を理解していくプロセスを体験しよう。 ・研修と日々の実践を別物にせず、本人がよりよく暮らししていくための支援を具体的に考え、日々の実践に即役立てていこう。 ・この研修をきっかけに、地元の本人と家族のよりよい暮らしやその支援について話しあえる仲間をつくり、研修後もつながっていこう。 ・本人の理解と支援、地域のつながり（多職種協働、地域包括ケア）の道具としてセンター方式を活かそう。 		
日程	時間	ねらい・内容
平成30年 6月24日（日）	10：00 -16：00	第1回 <ul style="list-style-type: none"> ・今日一日、本人「一人」のことをじっくり考える体験をする。 ・本人がよりよく暮らすことと、そのための支援のあり方を、センター方式を通して学ぶ。 ・グループのメンバーとの話し合いを通して、視野や考え方を広げる。 ・本人をもっとよく知るために、「研修2日目」までに現場で取り組みたいことを具体的に考える。
平成30年 7月29日（日）	10：00 -16：00	第2回 <ul style="list-style-type: none"> ・1日目の研修後に、現場で取り組んでみたことや、その取り組みから得られた発見や気づきを明確にしよう。互いに共有しよう。 ・「本人にとってのよりよい暮らし」とは何かを考え、実現していくための支援のプロセスを学ぼう。 ・本人のよりよい暮らしとそのための支援にむけて、地域で具体的なつながりを作っていくためのポイントと方法を学び、自分自身が身近な地域とのつながりを作り出していくきっかけをつかもう。
会場		
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2		
講師		
練馬区社会福祉事業団 地域支援課 課長 酒井 清子		

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 センター方式を活用した認知症ケア				
地域の仲間と考える認知症の人のよりよい暮らし 認知症ケアを深める事例検討会 Aコース				【全3回の連続研修】
対象				
<ul style="list-style-type: none"> 連続3回のすべての研修に参加できる方 当センター主催の「センター方式地域型基礎研修」を受講した方（平成21年度～29年度受講した方も対象）または、認知症介護研究・研修東京センター主催の「センター方式地域型基礎研修」を受講した方 当センター主催の「認知症ケア基礎研修」のみを受講した方は対象になりません。 検討する事例はAコースとBコースでは異なります。 				
ねらい				
<ul style="list-style-type: none"> センター方式を日常的に活かしながら、認知症の人が自分らしく暮らしていくための関わりやケアを着実に実践していくためのスキルアップを図ります。 本人本位のケアに向けて、事例から認知症ケアを深めます。 				
日程	時間	ねらい・内容		
平成30年 9月18日（火）	14：00 -17：00	第1回	事例検討	<ul style="list-style-type: none"> 本人本位の視点でケアを見直そう 本人本位のケアに向けたセンター方式の活かし方を具体化しよう チームで取り組むためのセンター方式の活かし方を具体化しよう 仲間の気づきや取り組みに学ぼう
平成30年 10月16日（火）	14：00 -17：00	第2回	事例検討	
平成30年 11月20日（火）	14：00 -17：00	第3回	報告会	
会場				
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2				
ファシリテーター				
練馬区認知症ケアマネジメント研究会				

コース名 センター方式を活用した認知症ケア				
地域の仲間と考える認知症の人のよりよい暮らし 認知症ケアを深める事例検討会 Bコース				【全3回の連続研修】
対象				
<ul style="list-style-type: none"> 連続3回のすべての研修に参加できる方 当センター主催の「センター方式地域型基礎研修」を受講した方（平成21年度～29年度受講した方も対象）または、認知症介護研究・研修東京センター主催の「センター方式地域型基礎研修」を受講した方 当センター主催の「認知症ケア基礎研修」のみを受講した方は対象になりません。 検討する事例はAコースとBコースでは異なります。 				
ねらい				
<ul style="list-style-type: none"> センター方式を日常的に活かしながら、認知症の人が自分らしく暮らしていくための関わりやケアを着実に実践していくためのスキルアップを図ります。 本人本位のケアに向けて、事例から認知症ケアを深めます。 				
日程	時間	ねらい・内容		
平成30年 12月18日（火）	14：00 -17：00	第1回	事例検討	<ul style="list-style-type: none"> 本人本位の視点でケアを見直そう 本人本位のケアに向けたセンター方式の活かし方を具体化しよう チームで取り組むためのセンター方式の活かし方を具体化しよう 仲間の気づきや取り組みに学ぼう
平成31年 1月15日（火）	14：00 -17：00	第2回	事例検討	
平成31年 2月19日（火）	14：00 -17：00	第3回	報告会	
会場				
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2				
ファシリテーター				
練馬区認知症ケアマネジメント研究会				

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 支援力を高める！			
摂食・嚥下リハビリテーションの基礎と実践			【全6回の連続研修】
対象			
<ul style="list-style-type: none"> ・連続6回のすべての研修に参加できる方 ・介護職、看護職、栄養士など職種やサービス種別は不問 ・食事のアセスメントを学びたい方、楽しく食事をしているところをみたい利用者がある方 			
<p>★ 毎年人気のある研修です。専門性の高い研修ですが、楽しみである食事をおいしく食べることができるように、ノウハウを学びませんか？</p>			
ねらい			
<ul style="list-style-type: none"> ・摂食、嚥下のメカニズムとその障害について理解します。 ・個々の摂食、嚥下機能を評価し、各障害に応じた適切な食事介助方法について 学びます。 ・その能力の維持、増進のために必要な訓練方法と口腔ケア方法について、相互実習を通して習得します。 			
日程	時間	内容・目標	
平成30年 6月11日（月）	9：15 -12：00	第1回	「 摂食嚥下のメカニズム 」 摂食嚥下のメカニズムと摂食嚥下障害者が抱える問題点について理解する。
平成30年 7月9日（月）	9：15 -12：00	第2回	「 摂食嚥下障害のアセスメント 」 摂食嚥下障害の評価法を習得し、個々が抱える問題点を抽出できるようになる。
平成30年 8月20日（月）	9：15 -12：00	第3回	摂食嚥下障害者のための食事介助 個々の障害に応じた適切な食事介助方法と、誤嚥・窒息時の対応法を理解する。
平成30年 9月10日（月）	9：15 -12：00	第4回	「 摂食嚥下障害に対する訓練 」 摂食嚥下機能の維持と向上に向けた訓練方法を理解し、実践できるようになる。
平成30年 10月15日（月）	9：15 -12：00	第5回	「 口腔ケアの実際 」 要介護者に口腔ケアを行う際の注意点を理解し、効果的な口腔ケア方法について習得する。
平成30年 11月12日（月）	9：15 -12：00	第6回	「 事例検討と総まとめ 」 これまでの知識をもとに、摂食嚥下障害者への対応方法をグループディスカッションする。
会場			
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2			
講師			
日本大学歯学部摂食機能療法学講座 助教 中山 洸利 氏			

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 支援力を高める！			
目指せ!移動・移乗介助マイスター			【全6回の連続研修】
対象			
<ul style="list-style-type: none"> ・連続6回のすべての研修に参加でき、宿題や課題を実施できる方 ・介護職、看護職、機能訓練指導員など、職種やサービス種別は不問 ・移動、移乗介助技術の発想力を身につけたい方 ※多くの事業所の皆さんに参加していただきたくため、申込多数の場合は1事業所2名とさせていただきます。			
 <ul style="list-style-type: none"> ・体を使って、体で納得できる研修です！トイレやお風呂の移乗や移動の介助で「なんだか上手くいかない…」と悩んでいる方、「移動・移乗技術、自己流だけど大丈夫かな…」と少し自信がない方、おすすめします。 			
ねらい			
<ul style="list-style-type: none"> ・課題がある研修です。 ・課題に取り組むことにより、理解が深まり、より実践的な研修となります。 ・連続研修により、様々な介護の場面で柔軟に考えられる力を養成します。 ・現場の介護リーダーを養成します。 			
日程	時間	ねらい・内容	
平成30年 6月6日（水）	18：00 -20：30	第1回	介護を考える 座りなおし
平成30年 7月4日（水）	18：00 -20：30	第2回	寝返り・起き上がり
平成30年 8月8日（水）	18：00 -20：30	第3回	イスからの立ち上がり と移乗介助
平成30年 9月5日（水）	18：00 -20：30	第4回	歩行 車イス 腰痛予防体操
平成30年 10月3日（水）	18：00 -20：30	第5回	応用編
平成30年 11月7日（水）	18：00 -20：30	第6回	事例検討（課題より）
※実技があります。 動きやすい服装と靴 でお越しください。			
会場			
第1回～4回、6回 光が丘デイサービスセンター機能回復訓練室			
第5回 大泉特別養護老人ホーム			
講師			
特別養護老人ホーム練馬キングス・ガーデン 機能訓練指導員（作業療法士） 澤本 哲哉 氏 大泉特別養護老人ホーム 機能訓練指導員（理学療法士） 濱渦 江美子 光が丘デイサービスセンター 機能訓練指導員（理学療法士） 小澤 あゆみ			

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 支援力を高める！			
生活の質を高める排泄ケア			【全3回の連続研修】
対象			
<ul style="list-style-type: none"> ・連続3回のすべての研修に参加でき、宿題や課題を実施できる方 ・介護職 看護職 ・排泄ケアのアセスメントを学びたい方、排泄障害の知識と理解を深めたい方 			
<p>★ 受講生の満足度が高く、好評でした！毎回の宿題をもとに、事業所間の情報共有や意見交換が進む内容となっています。宿題を通して講義が進められるので、理解が深まります。多くの排泄関係の器具を手にとることができるのも魅力です！</p>			
ねらい			
<ul style="list-style-type: none"> ・排泄ケアに関わる領域の基本的知識を理解できます。 ・排泄ケアでの「もしかして…」という気づきを得ることができます。 ・各回の専門的テーマに関して、ケアの考え方と技術を学び、日常のケアに活かすことができます。 			
日程	時間	内容	
平成30年 12月上旬～中旬	13:30 -17:30	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄ケアとは ・排尿障害 〔課題〕排尿日誌の記入
平成31年 1月上旬～中旬	13:30 -17:30	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・排尿日誌から考える ・排便障害 〔課題〕排便日誌の記入
平成31年 2月上旬～中旬	13:30 -17:30	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・排便日誌から考える ・ストマの基礎知識 ・排泄用具の種類と選び方
会場			
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2			
講師			
東京都リハビリテーション病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 高崎 良子 氏			

昨年度の参加者の声

- * 3回の研修を通して、個人にあった排泄の介助をすることの大切さをとても感じた。
- * 排泄用具も沢山の種類があり、排泄環境としてその方に合ったポータブルトイレを選ぶ大切さを学んだ。
- * 排泄介助を楽しめるようになれそう！

豊富な事例を持ち、看護師としての確かなアドバイスをいただける、気さくで魅力的な講師です！



昨年度は参加者の満足度が高く、大変好評でした！事前課題をもとに、事業所間の情報共有や意見交換が進み理解が深まります。また、排泄ケアに関する器具を手にとることができるのも魅力です！

研修を受講される方は、事前アンケートを必ず提出してください。



スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 支援力を高める！			
相談援助の理論と実際			【全5回の連続研修】
対象			
<ul style="list-style-type: none"> ・連続5回すべての研修に参加できる方 ・ソーシャルワークを学んだことがない方 ・ソーシャルワークをもう一度勉強したい方 			
<p>★ ・グループワークやロールプレイを通して、福祉の専門職の意義を考え、自信を深めることができます。日頃の業務が忙しい今だからこそ、原点に戻る研修をおすすめします。</p>			
ねらい			
<ul style="list-style-type: none"> ・人の尊厳を尊重するソーシャルワーク（相談援助）の基本をより実践的に学びます。 <p>*参加型研修（グループでの相互作用を活用して行います）</p>			
日程	時間	ねらい・内容	
	13:30 -17:00	第1回	<p>「人の尊厳を尊重するソーシャルワーク支援」</p> <p>ねらい：人の尊厳を尊重する支援について、その専門性を確認し理解する。</p> <p>内 容：倫理綱領・行動規範を用いてソーシャルワーク支援を検討する。</p>
	13:30 -17:00	第2回	<p>「面接技術」</p> <p>ねらい：ソーシャルワーク支援におけるコミュニケーション、面接の意義を理解する。</p> <p>内 容：模擬面接を通して面接のあり方やその基本となるコミュニケーション技術を体験して学ぶ。</p>
調整中	13:30 -17:00	第3回	<p>「アセスメントに基づいたソーシャルワーク支援」</p> <p>ねらい：明確な根拠に基づくソーシャルワーク支援を理解する。</p> <p>内 容：FKモデルを用いてアセスメント過程を経て支援方針を立案する。</p>
	13:30 -17:00	第4回	<p>「家族支援」</p> <p>ねらい：利用者と家族の関係はソーシャルワーク支援の要であることを理解する。</p> <p>内 容：システムとしての家族理解をとおして、ファミリーソーシャルワークの支援を学ぶ</p>
	13:30 -17:00	第5回	<p>「カンファレンス（会議）」</p> <p>ねらい：ソーシャルワーク支援におけるチームワーク、チームアプローチ、協働などの重要性を理解する。</p> <p>内 容：模擬カンファレンスを通して効果的・効率的な会議のあり方を確認する。</p>
会場			
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2			
講師			
ルーテル学院大学大学院附属包括的臨床コンサルテーション・センター ソーシャルワーカー 照井 秀子 氏			

スペシャリスト（専門援助職）の養成

コース名 支援力を高める！			
福祉の現場を支えるスーパービジョン			【全3回の連続研修】
対象			
<ul style="list-style-type: none"> ・連続3回すべての研修に参加できる方 ・リーダー、管理者 ・スーパービジョンについて学びたい方 			
<p>★ ・グループでの相互作用を活用して行う参加型研修です。専門職としての職員のやりがいを伸ばしたい方、事業所での職員の業務管理について考えたい方、事業所での職員の実効ある業務随行について考えたい方におすすめです。</p>			
ねらい			
<ul style="list-style-type: none"> ・スーパービジョンという言葉はすでに、福祉現場では馴染みとなっていますが、実際にスーパービジョンを実施しているという認識を持つ職員は少なく、また実施していても、これでいいのかと自信を持ってないようです。またスーパービジョンは難しいもので、自分には出来ない、またはそのような専門性がないとの声も聞かれます。果たしてそうでしょうか？ ・スーパービジョンとは何か？どこで誰がどのように行っているのか？基本的な考え方をしっかりと確認しながら、現場で必要とされるスーパービジョンについて、実際に参加型で学び合ひましょう。 			
日程	時間	内容	
調整中	13:30 -17:00	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・人の尊厳を守る専門職にとってスーパービジョンはなぜ必要か ・スーパービジョンの定義と内容 ・組織の中で行われるスーパービジョン体制 ・現場で行われているスーパービジョンの実際
	13:30 -17:00	第2回	
	13:30 -17:00	第3回	
会場			
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2			
講師			
ルーテル学院大学大学院付属包括的臨床コンサルテーション・センター ソーシャルワーカー 照井 秀子 氏			

決して易しくない!? **スーパービジョン** を学びませんか！

講師は、長年スーパービジョンを学び、現場の管理者がスーパービジョンを行なえるようにマンツーマンで指導してきました。講師は、「これだけ長く研究し、学び、現場で実践できるように工夫してきたけれど、まだまだ」と言っています。

この研修では、テキストを研修センターで購入し受講者に配付しています。しっかりと読んできてもらいたいという思いからです。スーパービジョンをしっかりと学びたい、事業所で活用したいという方、お申込みお待ちしております。



照井 秀子氏

人手不足の中、現場の専門職を支える技術は重要です。

スーパービジョンは人材育成、人材活用、離職防止、業務管理に効果的です。



リーダー・管理者の養成

コース名 リーダー・管理者スキルアップ			
チームリーダー養成講座			【全3回の連続研修】
対象			
<ul style="list-style-type: none"> ・連続3回のすべての研修に参加できる方 ・チームリーダー、ユニットリーダー、事業所の管理者 			
★ ・ゲームや演習を通じて具体的な体験から学んでいくため、分かりやすく、楽しく学ぶことができることもこの講座の特徴です。			
ねらい			
・一人ひとりの力を活かし、効率的で魅力的な強いチーム作りができるようになります。			
日程	時間	ねらい・内容	
平成30年 8月29日（水）	13：30 -16：30	第1回	「知る編①」 「組織の力を活かして、よりよい仕事をする！ チームワークを高める方法」 ひとりひとりの力を活かし、かつ働き甲斐を持ってもらうことと、チームのために主体的に行動してもらうこと、この二つをどうすれば可能とするのかを学びます。
平成30年 10月11日（木）	13：30 -16：30	第2回	「知る編②」 「一人ひとりを活かして、組織の成果を高める！ 部下を動かす、育てる方法」 日常どのようにメンバーに指示を出し、指摘をしていくのか、指導の基本を学びます。
平成30年 12月10日（月）	13：30 -16：30	第3回	「できる編」 実践あるのみ！みんなで話し合おう
会場			
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2			
講師			
一般社団法人ホスピタリティ機構認定講師 戸辺 美由起 氏			

コース名 リーダー・管理者スキルアップ			
ディスカッション・ファシリテーションスキルを磨く ～合意形成を導く会議の技術～			【全2回の連続研修】
対象			
<ul style="list-style-type: none"> ・連続2回の研修に参加できる方 ・職種やサービス種別は不問 			
★ ・「会議が長くて・・・」「うまく進行できない・・・」という方におすすめです。体系的に学びませんか？			
ねらい			
・本研修は「ディスカッション編」「ファシリテーション編」で構成されています。自身が進行役、参加メンバーいずれの立場にあっても自信をもって会議に臨み、生産的な議論を進め、皆が納得する結論を導き出す一員となるための知識と技術を体系的・実践的に学びます。			
日程	時間	ねらい・内容	
平成30年 9月27日（木）	13：30 -17：00	第1回	「ディスカッション編」 ・ゴールを意識する ・会議を活性化する傾聴と質問 ・説得力のある論理展開 など
平成30年 10月25日（木）	13：30 -17：00	第2回	「ファシリテーション編」 ・司会（ファシリテーター）の役割 ・論点を整理する ・合意形成のポイント など
会場			
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2			
講師			
日本キャリア開発協会認定CDA（キャリア・ディベロップ・アドバイザー） 堀上 晶子 氏 氏			

リーダー・管理者の養成

コース名 リーダー・管理者スキルアップ		
労務管理のポイント ～転ばぬ先の杖!事前に食い止める労務トラブル～		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所や施設の管理者層、リーダー層、労務管理の事務を担当されている方 		
<p>★ 「働き方改革」が求められる今、労働環境の改善は必須です。労務管理の基本を「知らなかった」では済ませることはできない状況です。事務員や一般職員に近いリーダー層にもおすすめです。</p>		
日程	時間	会場
平成30年 6月14日(木)	9:30-12:30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・「遅刻や無断欠勤が多い職員に対して注意をしたら、次の日から職場に来なくなった」「仕事が終わっても、タイムカードを押さずにダラダラと残っている職員がいる」「パート職員にわたしも正社員にしてください、と言われた」等々…法人労務にたずさわっていると、さまざまな問題に出くわすことがあります。経営者、管理職だけでなく、労務実務に直接かかわる事務職員にとっても、「ヒト」に関する悩みはつきないものです。 ・また、福祉施設は「女性職員が多いこと」、「パート、アルバイト職員が多いこと」、「夜勤、シフト勤務といった独特の職場体制」といった福祉事業所ゆえの課題が存在します。 ・福祉施設が抱えがちな労働問題、福祉施設の事務職員が知っておくべき労務に関するさまざまな事から、労務管理の専門家である社会保険労務士が、事例を交えわかりやすく噛み砕いて解説いたします。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ◆職員採用時の注意点——採用・試用の法律実務 ◆職員を就業させる際の注意点——労働時間 ◆職員が退職する際の注意点——退職、解雇、雇い止め 		
講師		
シム社会保険労務士事務所 所長 水城 弘之 氏		

労務管理は、事務員、管理者だけで行うものではありません。日ごろの業務を進めている現場のリーダーが労務管理の知識を持っていないことで実際にトラブルになることもあるようです。

- ・「労働時間」とは？
 - ・制服に着替える時間は業務？
 - ・労働時間の管理とタイムカードの関係は？
- 現場の業務管理と密接なことも多いのです。現場のリーダーの方にもおすすめの研修です。

「なるほど！」
「エッ そうなの!？」
「気をつけないと」
がたくさん見つかる研修です



受講者の声

- ・始業時刻と終了時刻の重要性を再確認した
- ・非常勤スタッフの契約更新について気付かされる事が多かった
- ・タイムカードについての話が参考になった
- ・毎日、頭を悩ませていた残業についての対策のポイントを学べた
- ・現在検討していた案件の今後の正式な運用に向けて、研修の内容を参考に検討したい

リーダー・管理者の養成

コース名 リーダー・管理者スキルアップ		
相談員、管理者のための事故後の家族対応 ～事故対応による家族トラブルを防止するために～（施設・通所編）		
対象		
・生活相談員、管理者層、リーダー層など		
★ ・ご家族の立場や思いを受け止めながら、適切な対応ができるようになりませんか？事業所や施設のリスクマネジメントを強化しましょう		
日程	時間	会場
平成30年 6月18日（月）	14：00-16：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
・数年前から、事故後の家族トラブルが急増しています。その原因は、事故後の家族対応が甘いことと、もともとトラブルにつながりやすい事故に対して、対応の備えをしていないことです。例えば、原因不明の骨折事故（気付かない間に骨折していた）などはトラブルになりやすい典型で、放置しておけばほとんどがトラブルになります。様々なトラブル事例から、トラブルの要因を分析し、家族対応をマニュアル化することでトラブルは避けられます。		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルを招かない事故後の家族対応（事故後対応マニュアル） <ul style="list-style-type: none"> *事故発生時の対応ルール *事故発生時の記録 *家族連絡と職場の情報共有 ・こんな家族トラブルも起きている（多様化する家族の要求） <ul style="list-style-type: none"> *受診遅れで対処記録を見せろ *介護記録を公開しろ *誤えんの原因を調査し報告しろ ・トラブルになりやすい事故の対処法 <ul style="list-style-type: none"> *原因不明の骨折 *過失の大きい事故で家族が激怒 *キーパーソンは納得しても他の兄弟が… *ショートの利用者の異食 *デイの認知症利用者の加害事故 ・相談員必携「事故後の家族対応マニュアル」 		
講師		
株式会社 安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏		

コース名 リーダー・管理者スキルアップ		
事例から学ぶ！ 苦情対応のポイントとは？		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・職種やサービス種別は不問 ・事業所や施設の管理者、直接、対応する場面のある現場リーダー 		
★ ・事業所や施設の体制や対応を振り返ることができる、よい機会となります。 ・事業所の契約書、重要事項説明書、個人情報取り扱い規定、利用同意書等をご持参ください		
日程	時間	会場
平成31年 1月29日（火）	13：30-16：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・練馬区に寄せられた苦情や相談例をもとに、対応のポイントを考えます。 ・グループワークを中心に、具体的な事例に即して、苦情対応のポイントを学びます。 ・契約書、個人情報保護規定等の意味を理解し、各事業所のルールを再確認します。 ・最近、説明不足を理由とする苦情が増えています。利用者や家族への適切な説明について、考えてみましょう。 ・苦情対応をスタッフにどのように伝えるのか、リーダーの役割を考えます。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・初期対応のポイント ・事業所のルールを確認する（契約書、個人情報保護規定等の理解） ・利用者・家族への適切な説明とは ・困難事例に立ち向かう ・苦情対応におけるリーダーの役割 		
講師		
斎藤 澄子 氏		

働きやすい職場づくり講習会

コース名 メンタルヘルス		
職場のハラスメント防止		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所や施設の管理者層、リーダー層 ・気になることが実際にあり、具体的な対応などを学びたい方 		
<p>★ 気になることが実際にあり、具体的な対応などを学びたい方などにもおすすめです。事業所や施設のリスクマネジメントの観点からも重要です！</p>		
日程	時間	会場
平成30年 7月23日(月)	18:00-20:30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・加害者、被害者になることのリスクを回避し、生産性の低下を予防します。 ・ロールプレイングやディスカッションを通じて、日々の行動における正しい習慣を身につけます 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・職場のハラスメントとは <ul style="list-style-type: none"> *ハラスメントの影響 *セクハラ、パワハラ ・セクシャルハラスメントについての理解 <ul style="list-style-type: none"> *セクハラの種類 *世の中の認識 *セクハラ事例ディスカッション ・パワーハラスメントについての理解 <ul style="list-style-type: none"> *パワハラ判例 *パワハラにあたりませんか？ *望ましい指導とは ・ハラスメントのない職場作りのために <ul style="list-style-type: none"> *ハラスメント対応の失敗例 *管理職の取るべき姿勢 *相談窓口の活用 		
講師		
ティーパック株式会社 臨床心理士 近藤 麻乃 (こんどう あさの) 氏		

コース名 メンタルヘルス		
職場のメンタルヘルスにおけるラインケア		
対象		
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所や施設の管理者層、リーダー層 ・メンタルヘルス不調を抱える部下などへの具体的な対応を学びたい方 		
<p>★ メンタルヘルス不調を抱える部下などへの具体的な対応を学びたい方におすすめです。職員の職場定着や離職防止にも有効なヒントが多くあります！</p>		
日程	時間	会場
平成30年 9月20日(木)	18:00-20:30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・対策のキーマンである管理・監督者が学ぶことで、組織のメンタルヘルスのリスクを効果的に回避します。 ・重要なポイントである『見る』『聴く』『繋ぐ』を中心に学びます。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・職場のメンタルヘルスに関する基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> *メンタルヘルスとは*職場のメンタルヘルス*自殺者の統計勤労者の数 *職場と個人のリスク ・管理職が果たすべき役割の確認 <ul style="list-style-type: none"> *ストレスとその影響*効果的コミュニケーション(傾聴) *気をつけて見ておくべき点 ・職場のメンタルヘルス問題に気付いたら <ul style="list-style-type: none"> *声をかける*話を聞く*専門家を紹介する*専門家とは ・専門家に繋ぐ ～「演習」 <ul style="list-style-type: none"> *効果的に繋ぐプロセス*ケース練習 ・相談窓口『こころとからだの元気サポート』のご案内 		
講師		
ティーパック株式会社 臨床心理士 近藤 麻乃 (こんどう あさの) 氏		

働きやすい職場づくり講習会

コース名 メンタルヘルス		
職場におけるピア・サポート ～支援しあえる職場づくりのために～		
対象		
・職種やサービス種別は不問		
★ ・横のつながりのサポートを強化しませんか？職員の職場定着や離職防止も期待することができます！		
日程	時間	会場
平成30年 6月25日（月）	13：30-16：30	練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身と周囲の人に対する職場のメンタルヘルスケアを学び、支援しあえる職場づくりを目指します。 ・同じような環境や立場にいる、同じような状況や経験を共有する仲間同士が、横のつながりを強化し、日常の悩みや相談事などを気軽に話し合い、お互いにカウンセラーとなります。 		
内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポートのプロセス ・「みる」「きく」「つなぐ」を身につける ・「きく」を鍛える ・「きく」をピアサポートに活かす （内容等は変更になる場合があります）		
講師		
ティーパック株式会社 臨床心理士 近藤 麻乃（こんどう あさの）氏		



「働きやすい職場作り応援団」を作ませんか？

一人で孤軍奮闘する職場作りではなく、「職員と一緒に考える 働きやすい職場作り」を目指しましょう。毎年、計画的に「働きやすい職場作り講習会」に職員を派遣し、「働きやすい職場作り応援団」を作ませんか。現在、「職場の雰囲気はOK」「助け合ってる」という事業所も、静まり返った水面にそよ風が吹いただけで波紋が立つように、あいづちひとつで雰囲気が変わってしまうこともあります。そんな時も、応援団を作っていれば、管理者の強い味方となってくれるはずですよ。

講習会を受けると…

お互いを認め合い、誰かの心が疲れていたらそれに気づき、疲れている人をそのまま認める、サポートする…そんな気持ちを高めることができます。

スキルや知識を教える人材育成はできても、事業所の雰囲気を変えるのは難しい…。

経験豊富な管理者といえども、心の持ち方やコミュニケーションの方法などを職員に指導するのは難しいものです。

また、「事業所の雰囲気が良くない」「もっと助け合って仕事ができれば…」と思っている、管理者はひとり、職員は複数なので、誰かの助けを借りずに取り組むのはとても難しいのです。事業所の雰囲気を変えるのも、働きやすい職場を作るのも、管理者ではなく職員一人ひとりなのです。

働きやすい職場づくり講習会

コース名 メンタルヘルス		
自分や人と上手に接する方法 ～人それぞれの違いを知って楽になろう！～		
対象		
・職種やサービス種別は不問		
★ ・様々なグループワークを通して、楽しく気付きや学びを得ることができる講習会です。職場での円滑なコミュニケーションや、利用者の理解につながり自分が楽になることができます。		
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・人には「気質」があることを知り、その気質による働きかけの違いを知ります。 ・気質による働きかけの違いを知ることにより、苦手とする人や理解ができなかった人とのコミュニケーション方法を学ぶことができます。職場での円滑なコミュニケーションや、利用者の理解につながり自分が楽になることができます。 		
日程	時間	内容
平成31年 1月28日(月)	13:30- 16:30	第1回 <ul style="list-style-type: none"> ・人を知る意義 ・人の気質とは ・気質と性格、行動特性の関係性 ・エニアグラムとは何か ・エニアグラムの役立て方
平成31年 2月13日(水)	13:30- 16:30	第2回 <ul style="list-style-type: none"> ・エニアグラムの9つのタイプの特徴 ・ストレスと成長の方向性 ・同じタイプでも同じ人はいない ・人を知る時に大切にすること
会場		
練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2		
講師		
一般社団法人ホスピタリティ機構認定講師 戸辺 美由起 氏		

色々な人がいて、同僚、利用者、利用者の家族の対応が大変！



エニアグラムとは？

人間が生まれつき持っている資質を9つのタイプに分類した性格分類学
Google、Amazon、Apple、Disneyなどでも使われています。

それぞれの人の違いを認めることは、人の理解への第一歩です。「伝わらない」「動いてくれない」と悩んでいる人に、違いを認めて対応を変えると、案外上手くいくことがあります。
この研修では、ワークを通して他者との違いを理解し認め、アプローチの仕方のコツやポイントを学ぶことができます。

働きやすい職場づくり講習会

コース名 メンタルヘルス		
タイトル未定		
対象		
★		
日程	時間	会場
		練馬介護人材育成・研修センター 研修室1・2
ねらい		
調整中		
内容		
講師		

練馬障害福祉人材育成・研修センター主催研修（相互受講研修）

基礎研修① 障害者権利条約批准後の支援のあり方について  ～意思決定支援を中心に～			
ねらい 内 容	・障害者権利条約の内容について理解し、主に意思決定支援の必要性と実践について学ぶ。 ・支援者としての価値観・倫理観を身に付ける。		
講 師	東洋大学 社会学部 社会福祉学科 教授 高山 直樹氏		
	1回目		2回目
日 時	5月14日（月）10：00～12：00		日 時 10月4日（木）10：00～12：00
会 場	練馬区役所本庁舎20階 交流会場		会 場 未定
おすすめの 対象者	・基礎を学びたい従事者 ※障害福祉に関わる方すべてに必修の研修です。		
定 員	6名（1事業所1名のみ申込）		

基礎研修② 障害とは何か、ICFを通して知る。 	
ねらい 内 容	・障害の概念(ICIDH、ICF)についてその変遷も踏まえ理解し、障害に応じた生活支援の考え方について学ぶ。
講 師	東洋大学 非常勤講師 丸山 晃氏
日 時	5月25日（金）10：00～12：00
会 場	練馬区役所本庁舎19階1902会議室
おすすめの 対象者	・基礎を学びたい従事者 ※障害福祉に関わる方すべての方にお勧めです。
定 員	6名（1事業所1名のみ申込）

基礎研修② 精神障害の理解と支援方法について  ～うつと統合失調症を中心に～			
ねらい 内 容	・主にうつ、統合失調症について特性を理解し、適した支援内容やセルフマネジメントについて学ぶ。		
講 師	精神保健福祉士 今井 知世氏		
	1回目		2回目
日 時	7月11日（水）10：00～12：00		日 時 12月12日（水）14：00～16：00
会 場	練馬区立区民・産業プラザ 研修室2（1） ココネリ3階		会 場 未定
おすすめの 対象者	・基礎を学びたい従事者 ※統合失調症の方の代表的な症状「幻聴」を体験できます。支援方法だけでなくセルフマネジメントも学べます。		
定 員	6名（1事業所1名のみ申込）		

基礎研修② 高齢化する障害者と家族の支援 	
ねらい 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の高齢化、その家族の高齢化に伴いどのような支援をしていけばよいかその解決方法について学ぶ。 ・利用者本人、家族、支援者の困りごとを考え必要な支援について学ぶ。 ・グループワークを通じ利用者の将来の生活を理解し、必要な支援を考える。 ・利用者の高齢化に備え、現在の支援で何か必要かを学ぶ。
講 師	練馬区立大泉福祉作業所 練馬区立大泉つつじ荘 施設長 古山 恵治氏
日 時	8月28日(火) 10:00~17:00
会 場	練馬区役所本庁舎19階1903会議室
おすすめの 対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅以上の従事者 ・テーマを課題に思っている従事者 ※知的障害者の支援に関わる職員及び相談支援に関わる職員にお勧めです！
定 員	6名(1事業所1名のみ)の申込)

基礎研修② 高次脳機能障害を知ろう  ~障害特性と支援方法について~							
ねらい 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害についての特性や特徴などを学び適切な支援を学ぶ。 ・東京高次脳機能障害者支援ホームの取組から高次脳機能障害について有用な支援方法について学ぶ。 						
講 師	東京高次脳機能障害者支援ホーム 自立訓練係長 兼次長 相良 宏司氏						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%; text-align:center;">1回目</th> <th style="width:50%; text-align:center;">2回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 時</td> <td>日 時</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td>会 場</td> </tr> </tbody> </table>	1回目	2回目	日 時	日 時	会 場	会 場
1回目	2回目						
日 時	日 時						
会 場	会 場						
日 時	10月25日(木) 10:00~12:00						
日 時	1月17日(木) 10:00~12:00						
会 場	未定						
会 場	未定						
おすすめの 対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎を学びたい従事者 ※高次脳機能障害に関わる支援者にお勧めです。						
定 員	6名(1事業所1名のみ)の申込)						

基礎研修② ALS患者の在宅ケアを考える 	
ねらい 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅生活をしている方に多い疾病、障害の特性について理解し、適切な支援内容について学ぶ。 ・ALS患者の方の支援を通して疾病の特性を踏まえた在宅ケアを支える上でのヘルパーの重要性や実際に活動されている方の想いを理解する。
講 師	特定非営利活動法人 在宅介護支援さくら会 山田 康子氏、松ヶ平 しずか氏
日 時	未定
会 場	未定
おすすめの 対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎を学びたい従事者
定 員	6名(1事業所1名のみ)の申込)

基礎研修③			
障害サービスの基本 ～障害者総合支援法を知る～ 			
ねらい 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援法について理解する。 ・障害者総合支援法について学び、支援者として日々の支援について考える。 ・地域生活支援事業や練馬区の施策を学ぶ。 		
講師	練馬区福祉部障害者サービス調整担当課 職員		
	1回目		2回目
日時	6月26日(火) 10:00~12:00	日時	10月23日(火) 14:00~16:00
会場	練馬区役所本庁舎19階 1902会議室	会場	未定
おすすめの 対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎を学びたい従事者 ※障害者総合支援法について詳しく学ぶことができます。 		
定員	6名(1事業所1名のみ)の申込		

基礎研修③	
障害者差別解消法 	
ねらい 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法、特に制定の意義と意味、「合理的配慮」の考え方について理解する。 ・権利擁護の視点から障害者差別解消法を学び、支援者として日々の支援を振り返る。
講師	未定
日時	未定
会場	未定
おすすめの 対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎を学びたい従事者
定員	6名(1事業所1名のみ)の申込

基礎研修③	
障害福祉施策 精神障害編 	
ねらい 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者の支援と法(精神保健福祉法)との関わりについて理解する。 ・精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について理解する。 ・練馬区の精神障害者に関する施策、地域生活を送る上での必要なサービスを学ぶ。
講師	練馬区保健所 保健予防課 精神支援担当係長
日時	5月28日(月) 14:00~16:00
会場	練馬区役所本庁舎19階1902会議室
おすすめの 対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎を学びたい従事者 ※精神障害に関する法制度やサービスについて学べます。
定員	6名(1事業所1名のみ)の申込

なお、練馬障害福祉人材育成・研修センターが主催している上記の相互受講研修以外の研修を受講することができる場合もございます。その際は、練馬障害福祉人材育成・研修センターへ直接お問い合わせいただき、お申込ください。

【問い合わせ先】
社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会 練馬障害福祉人材育成・研修センター
電話：03-3993-9985

- ・研修の詳細は練馬障害福祉人材育成・研修センターのホームページにて確認することができます。
- ・受講定員等の理由でご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

ひよこマークは新任や職歴の浅い職員向けの基礎的な内容を示しています。



にわとりマークは基礎的な内容を踏まえた応用的な内容を示しています。

